

チーム医療論	4年・後期	1単位	准教授 島田 昇
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121064

1. 授業のねらい・概要

本科目は、医療を取り巻く環境と医療提供のあり方を変遷してきた中で、医療人に必須のチーム医療について学ぶ。医療は対象に応じて様々な職種がチームを組んで、その目的達成のために関わっている。現代の医療において何故チーム医療が必要なのか、その意義、チーム医療の重要性を理解し、その関係性、チームにおける看護師の役割、現状と課題について理解を深め実践に応用するための方法を学ぶ。さらに、保健医療福祉サービスを実効あるものにするための関連する専門職種の体系的で緊密な連携のあり方について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 他の専門職種への理解を深め、職種間のコミュニケーションの重要性を理解する。
2. チーム医療における看護師の役割を理解する。
3. チーム医療における連携と協働について理解する。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、視聴覚教材、グループワークを取り入れ、生きた授業になるよう努力する。学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画（演習）

1. チーム医療とは何か
2. チーム医療の歴史
3. 制度に基づく看護の役割
4. 看護の専門性とは何か
5. チーム医療における看護の役割
6. チーム医療を支える職種の役割・協働
7. 患者をとりまく療養環境
8. チーム医療の課題と展望

5. 成績評価の方法・基準

試験 70%、レポート 30%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

授業中適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間以上の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

チーム医療の必要性や意義、連携方法を理解することで、看護師としての役割や責務を確認し、患者の安全性、QOLの向上について考える姿勢を持つこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容が不備なものは再提出を求める。試験の結果と模範解答は後日掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

行政機関及び医療機関における保健師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。